高山短期大学WRC参戦情報 2004.11/11~11/14

- ・高山短期大学は2004WRCラリーオーストラリアに9年連続で参戦します。
- ・ラリー期間中は現地オーストラリアのパース市より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は<u>こちら</u>

MENU: BRCK TOP NEXT 🔒

11月14日(日) Vol.3 LEG3 (GOAL)

2004/11/14 Vol. 3

ラリー開催期間中はもとより、オーストラリアに入る前から「応援メッセージ」をいただいた皆さんに感謝いたします。こうした暖かい励ましの言葉と、4月からの長い練習期間で培った精神力が彼らを完走へと導いたのだと思います。

彼らがラリーで得たものは非常に大きなものだったと思います。今はそれを「涙」という形でしか表現できなかったかもしれませんが、その涙が教えてくれたものが何だったのか?それがわかるのはきっとそう遠くはないと思います。

最後に、長い間応援してくださった皆さんに心より感謝いたします。



11月14日(日) Vol.2 LEG3 (GOAL)

2004/11/14 Vol. 2





11月14日(日) Vol.1 LEG3 (GOAL)

2004/11/14 Vol. 1

ラリー最終日。高山短大の2台のラリーカーは、大きなトラブルなく無事に完走した。9年連続の世界 ラリーの完走と、2台とも総合20位以内という快挙でのゴールだった。

1号車 №72勝田・山本組 総合15位 №75ス10位

2号車 №76ジムマーデン・スチュワート組 総合18位 Nクラス13位

エントリー68台、出走62台、完走29台(Nクラス19台)

2004年WRC第16戦(最終戦)は、半数以上がリタイアする過酷なレースとなった。相次ぐワークスのリタイアがあったが、ローブ(シトロエン)が2日目より首位をキープしたまま優勝し2004年WRCすべてのレースの幕を閉じた。(写真左、中央)

日本人ドライバートップの新井氏(同右)





11月13日(土) Vol.7 本日のサービスフォト

2004/11/13 Vol. 7

現在トップを走る、ローブ(シトロエン)(写真左) リタイアしたが、スーパーラリーとして走るソルベルグ(スバル)(写真中)。 シトロエンからのお誘いがありシトロエンのサービスを見学する学生メカニック。







11月13日(土) Vol.6 LEG2終了1号車18位

2004/11/13 Vol. 6

LEG2を終了し、1号車18位、2号車21位(出走は32台)。

なんとWRC参戦以来の祈願である10位台が見えてきた。世界的に注目されるランクの仲間入りをするのはベスト20からである。

満足いく走りを終えた1号車ドライバー勝田範彦氏とコ・ドライバー山本光浩氏(写真左)ゼッケン№31新井氏が突然の表敬訪問。(写真中)

明日最終日のためのスタッフミーティングがホテルに帰ってからも深夜遅くまで続く。(写真右)





11月13日(土) Vol.5 LEG2 (ラリー最後の45分サービス) (2)

2004/11/13 Vol. 5

ドライバーの要求を聞くことが最優先の作業となる。要求を皆に伝え要求どおりに仕上げていく。 実際に車に潜ってメンテナンスする学生の背後には、要求どおりの部品を即座に取り出せるようパー ツ担当者がいる。(写真中)彼らの「縁の下の力持ち」的なパーツ管理者は時間制限ある作業をこな していくための重要な任務である。







11月13日(土) Vol.4 LEG2 (ラリー最後の45分サービス) (1)

2004/11/13 Vol. 4

ラリー期間中のサービスの中で最も長いサービス時間は45分。これはSSS前のサービスとなり、ラリー期間中に2日目と3日目の夜の2回行なわれる。

ここでのサービスは、1号車のGPSの断線が発覚したため、新たに配線をすることとリアのドライブシャフトを交換すること。2号車はSSSで損傷した右後ろバンパーの修理するのがが主なメニュー」

ラリーのサービスも2日目になり、学生たちの動きも初日の緊張した動きから一変。周囲スタッフの厳しい声が今日はほとんど聞かれなくなった。

世界の最高峰WRCメカニックとしての成長ぶりが伺われる。





11月13日(土) Vol.3 LEG2(リモートタイヤフィッティング)

2004/11/13 Vol. 3

昨日はサービスパークより片道約200km離れた「マレー」にてのサービスだったが、今日は片道約50km離れた「マンド」にてのサービス。SS12を走り終えたラリーカーが山中の未舗装道路上でのタイヤ交換を行う。サービス時間は10分。10分以内に完了しない場合は即リタイアにつながる、技術と精神力を試されるサービスだ。







11月13日(土) Vol.2 L E G 2 (S S 1 2)

2004/11/13 Vol. 2

SS12 (場所はアトキンス、距離4.42km) を順調に走る1号車、2号車。2台の間に走る車がいない。このSSでは2号車が1号車を追いかける形になった。

SS12を終え、1号車20位、2号車23位(出走は36台)。初の10位台なるか?





11月13日(土) Vol.1 L E G 2 (早朝サービス)

2004/11/13 Vol. 1

ラリー3日目。久々の快晴である。

LEG1を順調に走ってきた1号車、2号車。しかしラリーはアクシデントがつきものだ。ワークスのトップドライバーらの相次ぐリタイアがそれを実証している。

「ラリーは何が起こるかわからない。簡単には完走させてはくれない。どこかに必ず大きなトラブルが待ち受けていることを常に心し、気を引き締めよ。」逸見監督から早朝サービス前の恒例のミーティングで一日がスタートした。(写真左)

さらに大橋先生より本日早朝サービス内容についての入念なミーティングが続いた。 (写真中) リーダーを中心にサービス内容を確認する学生メカニックたち。





高山短期大学WRC参戦情報





- <u>Topics Board</u> -

高山短期大学WRC参戦情報 2004.11/11~11/14

- ・高山短期大学は2004WRCラリーオーストラリアに9年連続で参戦します。
- ・ラリー期間中は現地オーストラリアのパース市より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は<u>こちら</u>

MENU: BRCK TOP NEXT 🔒

11月12日(金) Vol.7 本日のサービスフォト

2004/11/12 Vol. 7

ワークスの作業風景。LEG 1 を終え、トップを走るGronholm(カーM 5 プ $\mathring{\imath}$ $\mathring{\imath}$ $\mathring{\imath}$) と 5 位のHirvonen(カーM 2 $\mathring{\imath}$ $\mathring{\imath}$ $\mathring{\imath}$ 。 ギャラリーの数では本学も負けていなかった。





11月12日(金) Vol.6 LEG1 SS8-SS9

2004/11/12 Vol. 6

昨夜のSS1と同じ、グロセスターパークでSSS, SS9が行われた。 1号車、2号車とも気合の入った走りでスタンドを沸かせた。 LEG1を終えた順位は、1号車22位、2号車24位(出走は40台)







11月12日(金) Vol.5 LEG1 SS6-SS7

2004/11/12 Vol. 5

午後の20分サービスを終え、SS6, SS7を順調に走り終えた2台は、本日一番長い45分サービスに入る。2台とも特に問題なし。2号車のリアバンパーも走りには影響なく、取替えの必要はなし、ということであった。





11月12日(金) Vol. 4 サービスの合間に・・・

2004/11/12 Vol. 4

今日の昼食は、ジム氏、アラン氏、ミルトン氏の家族でB.B.Qを準備してくれた。今までファーストフード中心の昼食だったが、今日は家庭的な雰囲気の中、楽しい昼食となった。 大橋先生考案の「タイヤ積みゲーム」で、サービスの緊張をほぐす学生たち。(写真右)







11月12日(金) Vol.3 LEG1SS5(2号車破損)

2004/11/12 Vol. 3

SS4まで順調に走り続けた2台であったが、2号車がSS5で、右リアバンパーを損傷した。SS5直後の20分サービスでの現状復帰には限界があったが、応急処置にてラリー続行には問題なし。1号車は何のトラブルもなし。

本学のサービスはオーストラリアではワークス以上?に人気がある。サービス前から多くのギャラリーがテント周囲を取り囲んだ。

LEG1 (SS5) を終えて、1号車24位、2号車26位(出走は47台)昨日のSS1の段階で62台だった車がすでに47台となっている。ワークス (ソルベルグ) をはじめ、リタイアが相次いでいる。





11月12日(金) Vol.2 LEG1 早朝サービス(2)

2004/11/12 Vol. 2

早朝10分サービスでは特に問題点なく通常の点検作業のみ。緊張の中、無難に作業は終了。 また今年からSSの途中でタイヤ交換(Remote Tyre Fitting)のサービスが組み込まれた。今日は約 200km離れた「マレー」での作業。タイヤ交換サービス担当の学生4人を連れ、サービスパーク を後にする。







11月12日(金) Vol.1 LEG1 早朝サービス(1)

2004/11/12 Vol. 1

ラリー2日目。まずは早朝の10分サービスから本番が始まる。いよいよだ。逸見監督からの「ゲキ」 が飛ぶ。その後学生たちは円陣を組んで気合を入れた。





11月11日 (木) Vol. 4 ラリー開幕 (LEG1、SSS1)

2004/11/11 Vol. 4

いよいよこの日がやって来た。SS後のサービスはなく、学生たちは初めての「世界の走り」を観戦した。明日の早朝よりサービスが始まる。いよいよ学生たちの練習の成果が世界で発揮されるときが 近づく。

SSS1を終え、1号車31位、2号車35位。出走台数62。







11月11日(木) Vol.3 本番前(3)

2004/11/11 Vol. 3

仕上がったラリーカーと一緒に恒例の記念撮影。ラリーの成功を予感させるがごとく、なんとこの時間だけ晴れ間が広がった。

場所は昨年と同じサウスパークの公園から、パース中心街をバックに。

ゼッケンNo72 (ドライバー:勝田範彦氏、コ・ドライバー:山本光浩氏)

ゼッケン№76 (ドライバー:ジム・マーデン氏、コ・ドライバー:スチュワート・パーシバル氏)







11月11日(木) Vol. 2 本番前(2)

2004/11/11 Vol.2

ラリーカーも仕上がりほっと一息といったところ。今日の昼食は「KFC」。 学生たちはラリーカーに思いをこめて、全員の名前をボンネット裏に記した。





高山短期大学WRC参戦情報





- Topics Board -

高山短期大学WRC参戦情報 2004.11/11~11/14

- ・高山短期大学は2004WRCラリーオーストラリアに9年連続で参戦します。
- ・ラリー期間中は現地オーストラリアのパース市より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は<u>こちら</u>

MENU: BACK TOP NEXT 🔒

11月11日(木) Vol.1 本番前(1)

2004/11/11 Vol. 1

天候「雨」。今年のパースは異常気象だ。例年なら真っ青な青空が広がり、雨などほとんど降らない。しかし、我々がパースに入ってから一日中天気がよかった日は初日のシェイクダウンの日くらいである。

そんな雨の中、いよいようリーが開幕する。今夜6時38分、最小のSS(SSSI)がスタートする。開幕までの作業メニューは特にないが、1号車のヘッドライトの不具合が生じ、配線をチェックする。(写真左)

(写真中央) 本番前に談笑する、世界の「新井」氏と1号車ドライバー「勝田」氏。今夜からはお互い「敵」となって戦う。

(写真右) 本番前に入念な打ち合わせをする、本学「逸見」監督と「アレン・アダムス」氏





11月10日(水) Vol. 5 本日のサービスフォト

2004/11/10 Vol. 5

本番前の作業を進めるワークスのメカニックたち。世界のトップを争う、ソルベルグ(スバル)、やサインツ(シトロエン)のあこがれのマシンが目の前に。







11月10日(水) Vol.4 車検(SCRUTINEERING)

2004/11/10 Vol. 4

いよいよ車検である。本番前の登竜門であるこの車検をクリアしないと、せっかく仕上げたラリー車は出場ができなくなる。今年は夜8:36分から2台の車検を同時に行った。これまでにない緊張の時間が続く。車検は約一時間余り。非常に長く感じられた。無事何事もなく車検をクリアすることができた。まずは一安心である。明日からはいよいよ本番だ。





11月10日 (水) Vol.3 本番車両での練習

2004/11/10 Vol. 3

午前中にほぼ仕上がった1号車、2号車を使っての練習、そしてミーティング。ドライバーのいかなる要望に対しても迅速に答えられるかを、仮説の要望を出しながら練習を繰り返した。そんな練習風景を他のチームが興味深そうに見入っていた。







11月10日(水) Vol.2 車検前の最終調整

2004/11/10 Vol. 2

今日は車検前の最終調整をする。主なメニューはGPSの取付け、一号車ライトポッドの調整、2号車フロントガラスの修理である。フロントガラスはシェイクダウン中とみられる飛び石による破損(ひび割れ)が見つかったため、急きょ、ガラス修理の専門家を依頼した。激しいシェイクダウンの痕跡の犯人は、「ボールベアリングロード」といわれる砂利道のせいであろう





11月10日(水) Vol.1 サービスパーク紹介

2004/11/10 Vol. 1

サービスパークはスワン川のほとり、グロスター・パーク内にある。ホテルより車で3分ほどの、非常に近くて便利な場所だ







11月9日(火) Vol.4 レッキ車2台の整備作業

2004/11/09 Vol. 4

ワークショップから帰って息つく間もなく、今日一日ドライバーがテスト走行してきたレッキ車2台の整備作業をホテル前の広場で行う。メイン通りに面した場所で、周囲の注目をあびていた。





11月9日(火) Vol.3 実践練習(海外ラリー実習の試験?)

2004/11/09 Vol. 3

今日の作業を一通り終えたところで、タイヤ交換を中心とした実践さながらのデモンストレーションを行った。スタッフ全員が見守る中、タイヤ交換をメインで行う学生各2名が、一号車、二号車それぞれに分かれて、まるで卒業試験のごとく緊張した雰囲気の中で行なわれた。終了後、コーディネーターで、今回のドライバー「ジム」氏の元専属メカニックである「アレン・アダムス」氏に評価をいただいた。

評価は「Good! No problem!」







11月9日(火) Vol. 2 ワークショップでの仕上げ作業 (4)

2004/11/09 Vol. 2

さらに一号車のライトポッドの取り付け作業。ライトポッドの日本からのパーツ持込がなく、現地プロメカニック「ジョン・リドル」氏より、なんとあの「コリン・マクレー」の使用していたレガシー用のライトポッドを調達。ボンネットに取り付けるための加工を含め、難しい作業をこなしていった。学生の顔も真剣そのものだ。





11月9日(火) Vol. 1 ワークショップでの仕上げ作業 (3)

2004/11/09 Vol. 1

昨日に引き続き、ラリーカーの仕上げ作業。主な作業はステッカー貼付とオイル交換(ミッション、デフ)。また誰もが迅速にパーツを交換できるよう、学生全員がパーツ用トラック内の積み込み位置 を確認した。





高山短期大学WRC参戦情報





- Topics Board -

高山短期大学WRC参戦情報 2004.11/11~11/14

- ・高山短期大学は2004WRCラリーオーストラリアに9年連続で参戦します。
- ・ラリー期間中は現地オーストラリアのパース市より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板はこちら

MENU: BRCK TOP NEXT 🔒

11月8日(月) Vol. 10 今回参加学生の面々 (8)

2004/11/08 Vol. 1 0

左から山本雄大(京都府出身)、若原伸弥(滋賀県出身)、横山裕美=マネージャ(石川県出身)





11月8日(月) Vol.9 今回参加学生の面々 (7)

2004/11/08 Vol. 9

左から則武繁敏(愛知県出身)、松田晃太郎(山口県出身)、百瀬貴康(長野県出身)





11月8日(月) Vol.8 今回参加学生の面々 (6)

2004/11/08 Vol. 8

左から中村純(埼玉県出身)、縄手陽平(石川県出身)、西村哲生(長野県出身)





11月8日(月) Vol.7 今回参加学生の面々 (5)

2004/11/08 Vol. 7

左から宅間俊(京都府出身)、竹内治紀(神奈川県出身)、田光彬人(静岡県出身)





11月8日(月) Vol.6 今回参加学生の面々 (4)

2004/11/08 Vol. 6

左から児玉満夫(北海道出身)、佐々木啓二(福岡県出身)、杉山拓也(愛知県出身)





11月8日(月) Vol.5 今回参加学生の面々 (3)

2004/11/08 Vol. 5

左から岡田泰志(愛知県出身)、金田陽佑(長野県出身)、樹神博英(神奈川県出身)





11月8日(月) Vol.4 今回参加学生の面々 (2)

2004/11/08 Vol. 4

左から飯島教仁(愛知県出身)、大島典晃(栃木県出身)、大原悠(山梨県出身)







11月8日(月) Vol. 3 今回参加学生の面々 (1)

2004/11/08 Vol. 3

今回参加した学生は女子マネージャー人を含め24名。50音順に紹介します。 左から秋山純一(石川県出身)、浅田真宏(兵庫県出身)、阿部博之(長野県出身)







11月8日(月) Vol.2 ワークショップでの仕上げ作業 (2)

2004/11/08 Vol.2

ここ、パース郊外は非常に「はえ」が多い。10数匹もの「はえ」がいつも顔の周りを五月蠅く飛び回っている。学生はラリーカーと格闘するだけでなくこの「はえ」とも格闘しながら作業を進めている。 明日もワークショップで仕上げ作業の続きを行う予定。







11月8日(月) Vol. 1 ワークショップでの仕上げ作業 (1)

2004/11/08 Vol. 1

昨日のシェイクダウンを終え、今日は10日の公式車検に向けてラリーカーの整備にとりかかる。車高調整、下回りのトルクチェック、スペアパーツのチェックとパーツ用トラックへの積み込み作業。 学生リーダーを中心に作業は順調に進んでいく。





MENU: BRCK TOP NEXT 🔝

- Topics Board -

高山短期大学WRC参戦情報 2004.11/11~11/14

- ・高山短期大学は2004WRCラリーオーストラリアに9年連続で参戦します。
- ・ラリー期間中は現地オーストラリアのパース市より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は<u>こちら</u>

MENU: BRCK TOP NEXT 🔒

11月7日(日) Vol. 5 シェイクダウン(3)

2004/11/07 Vol. 5

2台とも10回以上のテスト走行をし、学生メカニックらも本番さながらの緊張したサービスに追われ、マシンを仕上げていった。学生たちのつなぎ(白)は一日でオーストラリアの大地の色に染められていった。





11月7日(日) Vol.4 シェイクダウン(2)

2004/11/07 Vol.4

1号車(スバルインプレッサWRXSTitypeRA白)ドライバーは昨年に引き続き全日本ランク2位の勝田範彦氏、コ・ドライバーは山本光浩氏(横河電機㈱)。この2人は今年のWRCJAPANラリーでもペアを組んだ。

2号車(スバルインプレッサWRX 青)ドライバーは、おなじみ(今年で5年連続)ジム・マーデン氏、コ・ドライバーはスチュアート・パーシバル氏。







11月7日(日) Vol. 3 シェイクダウン(1)

2004/11/7 Vol. 3

シェイクダウンはさらに90分ほど離れたパース郊外のマンダリングにある、「Westec Racingコース」。コースは大きく2コースあり、各コース約1km。このコースをドライバーは調整を加えながら、気が済むまで走りこむ。





11月7日(日) Vol. 2 ワークショップ紹介

2004/11/7 Vol. 2

ワークショップはホテル(パース中心部)から車で30分ほど行った、ジョン・キャンディロ氏の自宅 倉庫。3a(エーカ)もの広大な土地と広大な住宅を持つ。さすがにオーストラリアは広い。







11月7日(日) Vol.1 学生メカニックパース入り

2004/11/7 Vol.1

午前1時30分(現地時間)。いよいよラリー本隊(学生メカニック)が、待望のオーストラリアの地に着いた。今日は早速シェイクダウン(テスト走行)が始まる。仮眠を取っただけの状態だが、そこは若さでカバーだ。







2004WRCいよいよ参戦!

2004/11/03

自動車工学科の選択科目としてすっかり定着した、WRC世界ラリー選手権への挑戦。 2004年の今年も9年連続でオーストラリアラリー完走を目指します。 先発隊として本学教員3名が11/3に日本を出発しました。

学生たちメカニック本隊は11/6に日本を発ちます。現地からの情報更新は11/7以降を予定しています。



- Topics Board -